

TOYAKO & 洞爺産業まつり



洞爺湖温泉街を歩くコスプレイヤー

雨が小康状態となった昼からは、徐々に訪れるコスプレイヤーやアニメファンで盛り上がりを見せ、歩行者天国となったメイン通りを歩いたり、写真を取り合う姿が見え

ました。バットマン姿の函館市から来たカップルは「毎回参加している。アニメで町おこしはとても良いと思う」とこのアニメフェスタの雰囲気を楽しんでいました。雨の影響もありながら、今年の2日間の参加者は、昨年を1千5百人上回る5万3千人となりました。一方、合併10周年記念第40回洞爺産業まつり（同実施委員会主催）は悪天候の中、洞爺中央公園で始まりました。雨が小康状態となった昼近

ト OYAKOマンガ・アニメフェスタ2016（同事業推進委員会主催）が6月25日、26日の両日、合併10周年記念第40回洞爺産業まつりが同26日に開催されました。天候には恵まれませんでしたが、訪れた人らは、雨天も気にせず楽しんでいました。TOYAKOマンガ・アニメフェスタ2016は、洞爺湖温泉街を主会場に開催。初日のオープニングセレモニーに続いて実施される予定のコスプレパレードは、天候不良で中止となり、それに代わって痛車15台が、メイン通りをゆつくりと走行しました。



痛車をバックにポーズを決めるコスプレイヤー



足湯を楽しむ子供たち

くからは、家族や仲間同士で焼き肉を囲む姿が徐々に多くなり、五十嵐浩晃ライブや曙獅子舞などのアトラクションも行われ、来場者を楽しませました。合併10周年記念として今回初めて設置された足湯も「体が温まるし、木の匂いがいい」と好評で、家族連れや子どもが多く浸かっていました。産業まつりのメインイベントの野菜まきでは、レタス、長芋、ブロッコリーなどの野菜90袋が用意され、カヌーから湖畔に野菜が投げ入れられるたびに会場から歓声が上がっていました。

広 告

とうや湖踊る社中 YOSAKOIソーランで表彰

北海道の初夏を彩るYOSAKOIソーラン祭りが、6月8日～12日まで、札幌で開催されました。町内からもとうや湖踊る社中が出演し、出場回数が20回を迎えたことから、組織委員から表彰状が授与されました。



賞状を受け取る田鍋直征代表(右)